

8-4-8 国土基盤技術委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

技術委員会は統括技術委員会開催翌月の第2水曜日を開催日とし、計4回（5、7、9、11月）WEBで開催した。また、統括技術委員会からの依頼を受けて、メール等を活用し、協議と情報交換を随時実施した。

(2) 傘下委員会活動の情報共有

本委員会の傘下にある7委員会（河川計画、河川構造物、砂防・急傾斜、海岸・海洋、ダム・発電、港湾、土質・地質）の委員会活動、イベント・セミナーの開催状況について情報を交換した。特にコロナ禍におけるイベント・セミナーの開催方法等を共有し、同様の活動を行う際の参考とした。

また、各委員会で計画されたイベント・セミナーについて、審議・承認を行った。

(3) 統括技術委員会指示事項の審議・対応

a) 書籍の電子化について

テレワークの浸透にともなう新しい働き方が推進させるなか業務で活用する各種基準類の電子化が求められている。現状は、著作権等の法的な制約があるが、書籍の電子化は喫緊の課題であるため、国土基盤技術委員会内で要望や意見をとりまとめ、国土交通省や各種基準類の発行元に対して働きかけを実施する資料を提出した。

b) 各種基準やガイドライン改定に伴う意見照会への対応

国土交通省、土木学会等から、各種基準やガイドラインの改定案について内容の確認、修正の提案等を取りまとめて提出した。対応した基準類は以下のものとなる。

- ・土木学会コンクリート標準示方書[基本原則編][設計編][維持管理編]（案）
- ・BIM/CIM 歩掛
- ・情報共有ガイドライン
- ・電子納品ガイドライン

- ・共通仕様書、標準歩掛 等

(4) 各種活動

- a) 市町村における災害復旧事業の円滑な実施のためのガイドライン検討会への参加
令和4年度に、近年各地で災害が頻発しているなか、大規模な被災をうけた市町村におけるマンパワー不足、円滑な業者の確保に苦慮する事例が増加していることへの対応として市町村における災害復旧事業の円滑な実施のためのガイドライン検討会が実施され、ガイドライン【第1稿】が策定された。

令和4年度は、【第2稿】の策定を目的に第4回の検討会が実施され、建設コンサルタントの立場として検討会に参加した。

2. 次年度の活動について

令和5年度は、前年度の取り組みを引き続き実施するとともに、個々の委員会活動を基本としながら、国土基盤技術委員会として共同・連携した活動についても行っていく。

- ・事業計画に基づく技術委員会の定例的活動の実施
- ・統括技術委員会からの指示事項、検討事項への対応
- ・統括技術委員会への要望の検討、上程
- ・傘下技術委員会活動の情報共有と連携の可能性検討（共同でイベント・セミナーの開催など）
- ・RCCM 自主学习・教材の作成・更新
- ・国交省等依頼事項、各種相談への対応
- ・その他

（国土基盤技術委員会委員長 伊藤 豊）